

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	福井県鯖江市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	「伝統芸能のまち鯖江」創出事業(文楽・狂言)		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>地域にゆかりがある伝統芸能(文楽・狂言)を広く普及・啓発し、保存・継承とともに後継者育成を目指す。世界的に著名な浄瑠璃・歌舞伎作者、近松門左衛門は、専門家による本年の調査・研究により、ほぼ鯖江で生まれ、育ったことが確定的になった。この歴史的史実は、非常にインパクト、ブランド力があるものである。様々な世代が関心を持てるような文楽作品を「近松が生まれたまちさばえ」と連携させ、文楽ファンを拡大する。</p> <p>また、文化庁の旅百選で大賞を受けた「ジャパンを訪ねる旅」の越前漆器の産地が狂言演目『塗師平六』の舞台になっている。「越前漆器・うるしの里」の情報発信とあわせて狂言の普及・継承を実施することにより、効果的な伝統文化・漆器産業の振興につなげる。地域の歴史に密着した伝統芸能の普及・継承を住民が一体となって考え、地域活性化につなげ、文化都市への転換を図り、「伝統芸能のまちさばえ」を創出するため、下記の取組みを実施する。</p>			
6 実施体制			
<p>本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等は以下の担当課が行う。</p> <p>教育委員会文化課：各補助事業における文化財等の取扱等に関する指導・調整等 教育委員会生涯学習課(立待公民館)：各補助事業における会場の提供(文楽) 産業環境部商業政策課(うるしの里会館)：各補助事業における会場の提供</p> <p>また、補助事業は次の団体が実施する。</p> <p>近松の里づくり事業推進会議(文楽、会長：富山秀俊) 特定非営利活動法人かわだ夢グリーン(狂言、理事長：駒本長信)</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 19,402 千円	平成29年度申請額： 3,595 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果(定性的な効果を記載)			
<p>市民の地域にゆかりが深い伝統芸能に対する関心や意識、地域への愛着心が向上し、今後、住民が地域の歴史や産業と一体となった日本古来の伝統芸能の保存と、後継者育成、地域活性化が期待できる。特に、伝統芸能に対する関心が低い若い世代へ文楽や狂言の魅力を伝え、伝統芸能ファン層の底辺拡大につながる。文楽事業では、「近松のまちさばえ」のブランド力の全国発信、狂言事業では、伝統産業越前漆器の情報発信につながり、観光客の増加や産業振興が見込める。</p>			
10 その他事業(自主財源、民間団体、他省庁等からの補助(支援)を予定している事業など)			
事業概要：	「全国子ども文楽サミット開催事業」：「たちまち子ども文楽」が設立5周年になるので、新演目『傾城阿波鳴門』を習得する。初披露として、全国から子ども文楽クラブを招聘して「全国子ども文楽サミット」を開催し、各団体の公演と交流会を実施する。		
事業概要：	桐竹紋壽×鯖江人形浄瑠璃「近松座」師弟公演：「近松座」は「文楽座」人形遣い桐竹氏の指導により近松演目『傾城恋飛脚』を習得した。「たちまち近松まつり」が20回目の年になるので、桐竹氏と「近松座」の共演により『傾城恋飛脚』を上演。「全国子ども文楽サミット」参加者も鑑賞。		
事業概要：	「さばえ近松文学賞2017～恋話(KOIBANA)～」：近松生誕360年を記念して創設した「さばえ近松文学賞～恋話(KOIBANA)～」。恋にまつわる短編小説を全国から募集し、その表彰式は、文楽イベントと合わせて実施する。		
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
<p>当課では、現在、国指定史跡を目指して「今北山・磯部・弁財天古墳群」の発掘調査中である。また、国指定史跡「兜山古墳」の用地買収が本年度終了し、整備工事に着手することになる。人員の問題もあり、それらの目処がついた段階で「歴史文化基本構想」の策定を目指す。</p>			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	鯖江市教育委員会文化課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	近松の里たちまちスタンプラリー「パワースポット+KOIBANAめぐり」(自主事業)参加者			関連事業:	①	
目標値 1 :	平成 28 年度		150 人	⇒	平成 33 年度 240 人	
設定根拠 1 :	平成28年度から、毎年、10%の増加を設定					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 2 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 2 :	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	うるしの里会館の来館者数			関連事業:	②	
目標値 2 :	平成 28 年度		105,000 人	⇒	平成 33 年度 109,000 人	
設定根拠 2 :	平成27年度までの5年間の平均伸び率1.0%に対し、2倍の2.0%を設定					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 3 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 3 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3 :	たちまち子ども文楽の部員数			関連事業:	①	
目標値 3 :	平成 28 年度		12 人	⇒	平成 33 年度 17 人	
設定根拠 3 :	毎年1名づつ増加させていく。					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 4 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 4 :	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 4 :	鯖江市まなべの館の入館者数			関連事業:	②	
目標値 4 :	平成 26 年度		26,900 人	⇒	平成 33 年度 34,000 人	
設定根拠 4 :	「近松の部屋」の常設展示の充実、「古典の日」制定記念イベントの実施により毎年、1,000人づつの増加を設定					
進捗状況 4 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	

様式 1 - 1 別紙②

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	新しい感覚で場広い世代が楽しめる文楽啓発イベントの開催	実施団体：	近松の里づくり事業推進会議		
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
事業概要：	「文楽は敷居が高い、難しい」という先入観を取り払うことができ、様々なジャンルのものと文楽人形がコラボレーションした、新しい感覚で文楽の魅力に触れることができる公演を開催する。				
評価指標区分：	・その他		(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	鯖江人形浄瑠璃「近松座」への新規入会者数				
目標値：	平成 29 年度 1 人		⇒		平成 33 年度 5 人
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
人	人	人	人	人	人
事業②：	狂言「塗師」うるしの里活性化事業	実施団体：	特定非営利活動法人かわだ夢グリーン		
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
事業概要：	継承事業(人材育成)で活動している地元狂言クラブのメンバーと大蔵流茂山忠三郎社中のプロ役者とコラボして、狂言の集いを開催する。				
評価指標区分：	・その他		(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	かわだ夢グリーン狂言クラブへの新規入会者数				
目標値：	平成 29 年度 1 名		⇒		平成 33 年度 5 名
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
名	名	名	名	名	名